土浦ロケ地マップ
（2024年度）

土浦市内で撮影が行われた
代表的な９作品のロケ地を紹介します。

2025年6月6日公開　エイベックス・フィルムレーベルズ

「青春イノシシ ATARASHII GAKKO! THE MOVIE」

朝日峠展望公園

新しい学校のリーダーズの歌唱シーン等を撮影

2025年4～5月放送　NHK総合

「NHK連続テレビ小説 あんぱん」

土浦第一高等学校 旧本館

のぶ（今田美桜）が通った
高知縣高智女子師範學校の
設定で使用

2024年6～9月放送　TBSテレビ

「笑うマトリョーシカ」

土浦第一高等学校 旧本館

清家一郎（櫻井翔）が通っていた
私立福音学園高等学校の
設定で使用

2026年3月27日公開　ハピネットファントム・スタジオ

「ストリート・キングダム 自分の音を鳴らせ。」

©2026映画「ストリート・キングダム 自分の音を鳴らせ。」製作委員会

空き店舗（中城通り）
がばんクリエイティブルーム

モモ（若葉竜也）の実家設定で使用し、
モモ・ユーイチ（峯田和伸）・
サチ（吉岡里帆）の会話シーン等を撮影

2024年4～5月放送　フジテレビ

「366日」

桜川河川敷　**うらら大屋根広場**

主人公たち（広瀬アリス・眞栄田郷敦・
坂東龍汰・長濱ねる・綱啓永）が
土浦全国花火競技大会を見に来た
シーンを撮影

2026年6月19日公開　アスミック・エース

「マジカル・シークレット・ツアー」

©2026「マジカル・シークレット・ツアー」製作委員会

クルスモータース

主人公・和歌子の実家の設定で使用

2024年10～12月放送　テレビ東京

「ウイングマン」

©ウイングマン製作委員会

土浦産業技術専門学院

主人公たち（藤岡真威人・
加藤小夏・菊地姫奈）が通う
倫額高等学校の設定で
メインロケ地として使用

2024年12月～2025年2月放送　MBS/TBS

「レッドブルー」

©「レッドブルー」製作委員会・MBS

土浦産業技術専門学院

主人公たち（木村慧人・長谷川慎・
椿泰我）が通う高校の設定で
メインロケ地として使用

2025年7月4日公開　東映

「この夏の星を見る」

©2025「この夏の星を見る」製作委員会

土浦第三高等学校

主人公たち（桜田ひより・
水沢林太郎・河村花）が通う
砂浦第三高等学校の設定で
メインロケ地として使用

TSUCHIURA FILM COMMISSION

土浦フィルムコミッション
（土浦市シティプロモーション課内）

〒300-8686 茨城県土浦市大和町9番1号
TEL 029-826-1111（内線 2324）
FAX 029-823-9220
e-mail fc@city.tsuchiura.lg.jp
WEB http://www.tsuchiura-fc.jp

（2026.6初版）

映　画「この夏の星を見る」

ロケ地：**土浦第三高等学校**
茨城県土浦市・砂浦第三高等学校の設定でメインロケ地として使用
＜主人公・亜紗(桜田ひより)と凛久(水沢林太郎)が天文部へ入部したシーン＞
＜亜紗、凛久の天文部での活動を見守る先輩・晴菜(河村花)のシーン＞
＜天文部顧問・綿引(岡部たかし)指導のもと、屋上でスターキャッチをする天文部の生徒たちのシーンなど＞

朝日峠展望公園
＜砂浦三高天文部および他校の天文部のスターキャッチコンテストのシーン＞

出　演：桜田ひより　水沢林太郎　黒川想矢
中野有紗　早瀬憩　星乃あんな
和田庵　萩原護　秋谷郁甫　増井湖々
安達木乃　蒼井旬　中原果南
上川周作　河村花　朝倉あき
堀田茜　近藤芳正　岡部たかし
監　督：山元環
撮　影：2024年9〜10月
公　開：2025年7月4日
配　給：東映

直木賞作家・辻村深月原作「この夏の星を見る」を映画化。最高で、二度と来ないでほしい夏。世界がコロナ禍に覆われた2020年。部活動を制限された中高生たちが挑んだのは、オンラインを駆使して日本各地で同時に天体観測を行う競技「スターキャッチコンテスト」。茨城・土浦、長崎・五島、東京の学生が始めたこの活動は、やがて全国に広がって―。

小説「この夏の星を見る」は、土浦第三高等学校・科学部の天文活動がモデルとなっており、同校ご協力のもと、実際に撮影も行われ、科学部部室を主人公たちの天文部部室として使用したり、屋上、廊下、正門から延びる桜並木など様々な場所を使用しました。他、朝日峠展望公園は、コロナ禍前のスターキャッチコンテストのシーンが撮影されました。

©2025「この夏の星を見る」製作委員会

映　画「マジカル・シークレット・ツアー」

ロケ地：**クルスモータース**
主人公・小川和歌子の実家の設定で使用
＜主人公・小川和歌子(有村架純)と母親(峯村リエ)の会話シーン＞
＜祖父の葬儀の最中、和歌子が金の密輸をしていることがばれてしまうシーン＞
＜和歌子が母親や家族からの言葉に耐えきれず、家を飛び出し、田ノ上(斎藤工)の車に乗って走り去るシーンなど＞

市内道路
＜和歌子の車での走行シーン＞

出　演：有村架純　黒木華　南沙良
塩野瑛久　青木柚　早瀬憩
栗原颯人　篠原ゆき子　中島ひろ子
峯村リエ　佐野史郎　斎藤工
監　督：天野千尋
撮　影：2025年3月
公　開：2026年6月19日
配　給：アスミック・エース

平穏な日常を送る二児の母が、突然知らされた夫の借金と解雇。返済のため行きついたのはシンガポールでの闇バイト【金の密輸】だった。そこで偶然出会った非正規雇用の研究員と未婚で妊婦のキャバ嬢。密輸の成功に味をしめた3人は、自分たちで密輸を始めることに。初めて手に入れたお金と自由、そして"自分らしく生きる喜び"。それは魔法のような時間だったが…。岐路に立たされた3人の、それぞれの人生の行方は―。

クルスモータースは、主人公・和歌子の実家の設定で使用されました。4日間撮影が行われ、和歌子と母親の確執や、祖父の葬儀中に金の密輸を行っていることが家族にばれてしまうなどのシーンが撮影されました。その他、、土浦市を象徴するハス田の中を和歌子が車で走行するシーンも撮影されました。

©2026「マジカル・シークレット・ツアー」製作委員会
クルスモータース

ドラマ「NHK連続テレビ小説 あんぱん」

ロケ地：**土浦第一高等学校 旧本館**
高知縣高智女子師範學校の設定で使用
＜主人公・のぶ(今田美桜)の入学試験のシーン＞
＜のぶとうさ子(志田彩良)が合格発表を見に来たシーン＞
＜慰問袋を作ろうと生徒たちに声をかけるのぶのシーンなど＞

出　演：今田美桜　北村匠海　江口のりこ
河合優実　原菜乃華　高橋文哉
眞栄田郷敦　大森元貴　戸田菜穂
戸田恵子　浅田美代子　吉田鋼太郎
妻夫木聡　阿部サダヲ　松嶋菜々子　他
監　督：南雲聖一
撮　影：2024年12月
放　送：2025年4月23日〜5月16日（第18〜35話）
放送局：NHK総合

"アンパンマン"を生み出したやなせたかしと暢の夫婦がモデル。生きる意味も失っていた苦悩の日々と、それでも夢を忘れなかった二人の人生。何者でもなかった二人があらゆる荒波を乗り越え、"逆転しない正義"を体現した「アンパンマン」にたどり着くまでを描き、生きる喜びが全身から沸いてくるような愛と勇気の物語。

土浦第一高等学校 旧本館は、のぶが通った高知縣高智女子師範學校の設定で使用されました。アスファルトの上に土を撒き、当時の道路を再現。入学試験に遅れそうになったのぶがギリギリ正門に滑り込むシーンや面接試験のシーン、入学した後の学校生活のシーンなどの撮影が行われました。

ドラマ「366日」

ロケ地：**桜川河川敷**
＜主人公たち(広瀬アリス・眞栄田郷敦・坂東龍汰・長濱ねる・綱啓永・夏子・中田青渚・中沢元紀・高田里穂)が土浦全国花火競技大会を見に来たシーン＞

うらら大屋根広場＜土浦全国花火競技大会の帰りのシーン＞

市内道路＜主人公たちが土浦全国花火競技大会へ向かうシーンなど＞

土浦まちかど蔵「大徳」・大久保写真館
＜明日香(広瀬アリス)が、和樹の絵を探しに来てここにはないと告げられるシーン＞

出　演：広瀬アリス　眞栄田郷敦　坂東龍汰　長濱ねる
綱啓永　夏子　中田青渚　中沢元紀
高田里穂　清乃あさ姫　和久井映見
前田公輝　戸田菜穂　北村一輝　他
監　督：平川雄一朗　ほか
撮　影：2024年4〜5月
放　送：2024年4月22日(第3話)
5月20日(第7話)
放送局：フジテレビ

HYの名曲「366日」をモチーフにしたオリジナルドラマ。「忘れられない恋」をテーマに高校時代の故郷と、大人になったそれぞれの場所を軸に、12年間すれ違い続けた男女5人の出会い、別れ、恋、仕事、人生を繊細に描く、泣けるラブストーリー。

主人公たちの故郷が茨城県という設定のため、土浦の地名や土浦全国花火競技大会の名称がそのまま使用され放送されました。花火大会のロケには約400人のエキストラの方が参加し、早朝〜翌朝まで撮影が行われました。

市内道路

土浦第一高等学校 旧本館

土浦第一高等学校 旧本館

映　画「ストリート・キングダム　自分の音を鳴らせ。」

ロケ地：**空き店舗** モモの実家・レコード店 ロキシーハウスの設定で使用
<モモ(若葉竜也)・ユーイチ(峯田和伸)・サチ(吉岡里帆)が自作のレコードを聴きながら話しているシーン＞
＜未知ヲ(仲野太賀)が自分のバンドのレコードを販売して欲しいとモモに頼みに来たシーンなど＞

がばんクリエイティブルーム モモの部屋の設定で使用
＜モモを心配したユーイチが会いにきたシーン＞＜楽しげに話すモモとユーイチのシーン＞

中城通り 土浦名店街 市内道路 ＜ユーイチとサチが楽しげに自作のレコード抱えて走るシーンなど＞

養豚場跡 ＜仕事中にラジオから流れてきた音楽を聴き、飛び出していくユーイチのシーン＞

出　演：峯田和伸　若葉竜也　吉岡里帆
仲野太賀　間宮祥太朗　中島セナ
神野三鈴　浜野謙太　森岡龍
山岸門人　マギー　米村亮太朗
松浦祐也　渡辺大知　大森南朋
中村獅童　他
監　督：田口トモロヲ
撮　影：2024年11月
公　開：2026年3月27日
配　給：ハピネットファントム・スタジオ

1978年。わずか1年の間に、その後のロック・シーンに大きな影響を与えた若者たちのムーヴメントがあった。インディーズというスタイルを生み出し、ライブにオールスタンディングを導入し、数多のバンドが集うロック・フェスを開催。いまや当たり前となったカルチャーの原点を築いたのは、自らの表現を信じて突き進んだ、若者たちだった。

中城通りにある空き店舗をモモの実家『レコード店・ロキシーハウス』の設定で使用し、がばんクリエイティブルームをモモの部屋の設定で使用しました。ユーイチとサチが走るシーンは市内数カ所で撮影が行われるなど、市内の風景がたびたび登場しています。

©2026映画「ストリート・キングダム 自分の音を鳴らせ。」製作委員会
空き店舗

映　画「青春イノシシ ATARASHII GAKKO! THE MOVIE」

ロケ地：**朝日峠展望公園**
＜新しい学校のリーダーズの歌唱シーンなど＞

出　演：KANON SUZUKA RIN MIZYU
（新しい学校のリーダーズ）
監　督：清水恵介
撮　影：2025年3月
公　開：2025年6月6日
配　給：エイベックス・フィルムレーベルズ

2025年に結成10周年を迎え、唯一無二の存在で世界を席巻している「新しい学校のリーダーズ」。猪突猛進に今この時間を生きる。それが、青春だ。彼女たちのエネルギー溢れる青春が、この映画に詰め込まれている。結成10周年記念ドキュメンタリー映画。

新しい学校のリーダーズのメンバーが山登りをしてきたら、開けた風景が。朝日峠展望公園では、眼下に関東平野を見渡せる頂上付近で、メンバーの歌唱シーンの撮影が行われました。

©2025,ASOBISYSTEM/TV ASAHI MUSIC/TWIN PLANET＆CJ 4DPLEX Japan